

2019年1月

医療法人社団 徳耀会
理事長 榎本安行

年 頭 所 感

新年、あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、新年をお健やかに迎えの事とお慶び申し上げます。旧年中は徳耀会関連事業運営に際しまして、多大なるご支援、ご協力をいただき、誠に有り難う御座います。

さて、平成最後の年となり、新しい元号がスタートいたします。幕末明治維新より150年を経て、元号も・明治・大正・昭和・平成と時代は移り変わりました。日本人は古来よりこの元号が変わる事により時代の変化・新たなる良い時代を望み、また、過去の時代を思い出すこと事が可能です。今や、世界で唯一、西暦と時元号を用いる民族であり、日本人として世界に誇れる文化であります。

また、今や、日本は、世界の超高齢者社会を形成している国です。これからの少子高齢化社会をどう生き残る事が出来るか、最貧財政破綻国となるか今や世界の各国が興味深く覗き見ている中、此処は是非とも、日本人の総意知恵の活かしどころと考へ、頑張ってゆかねばなりません。幕末より維新を達成し、和魂洋才よろしく、日清・日露を勝ち抜き、日中・日米開戦敗戦とどん底の経験をし、戦後の日本経済をあっという間に世界のナンバー1の経済大国に押し上げた我が民族、日本人。素晴らしい民族です。

これより世界の国々の中で、経験した事のない超高齢者社会を、幕末維新を迎えた150年を経てきた日本人の先達の経験、叡智を生かし、総意・工夫・知恵を使い、生き残る、乗り切る事が大切であり、可能である事に期待しておる次第です。

今年も、徳耀会職員一同、頑張ります。

今年も変わらぬご指導とご協力をお願い申し上げます、年頭のご挨拶といたします。